

<第1四半期決算 補足説明資料>

平成30年3月期

第1四半期決算概要

平成29年8月9日

海外

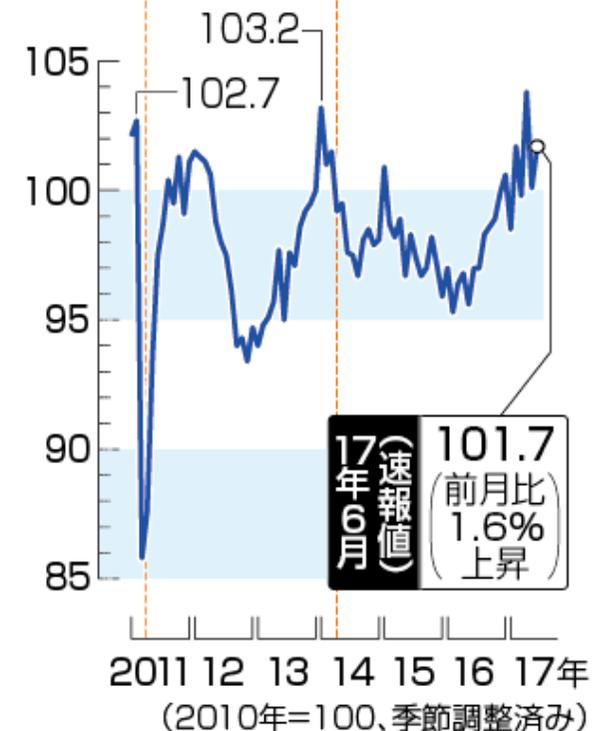
全体として緩やかに回復も、政治の動向や地政学的リスクの高まり等、先行き不透明な状況が続く

国内

設備投資や雇用環境が改善する等緩やかな回復基調で推移

鉱工業生産指数の推移

東日本大震災 消費税増税



■ 当社グループの業績等

● 損益の状況

(単位:百万円)

連結業績	平成28年度 第1四半期	平成29年度 第1四半期	対前年同四半期比 増減額 (増減率)
売上高	2,521	2,598	76 (3.0%)
営業利益	139	137	△1(△1.3%)
経常利益	104	188	84 (80.7%)
四半期純利益	94	132	37 (40.0%)

《当第1四半期の概況》
機械部品事業、電機部品事業とも、全体として堅調に推移し、連結・個別とも増収増益

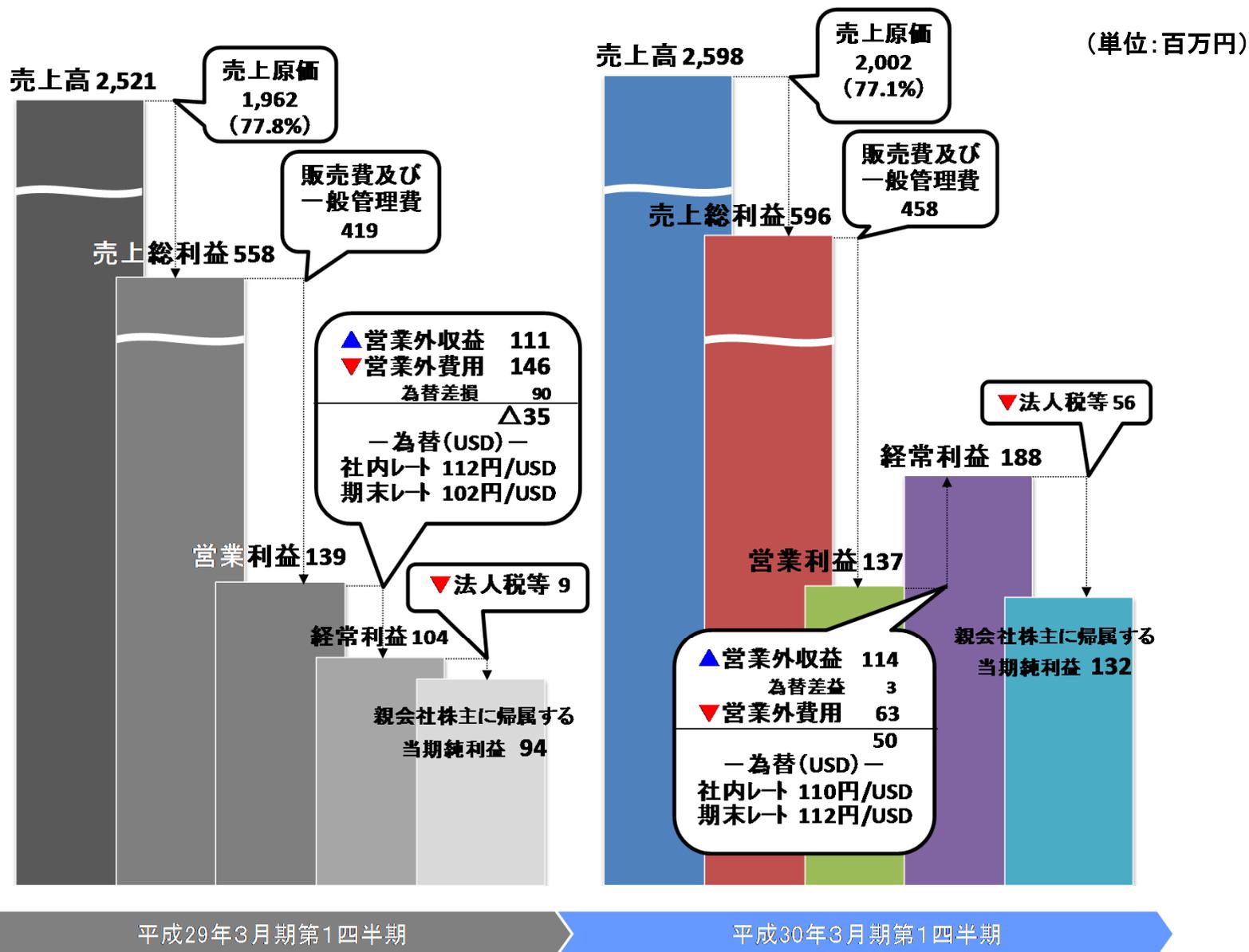
● 財務の状況

(単位:百万円)

科目	平成29年 3月期期末	平成30年 3月期 第1四半期	前連結会 計年度末 比増減額
総資産	14,836	15,097	261
負債	5,858	6,007	149
純資産	8,978	9,090	111

《当第1四半期末の概況》
・総資産:前期末比、261百万円増加
(流動資産、固定資産ともに増加)
・負債:前期末比、149百万円増加
(流動負債が増加、固定負債は減少)
・純資産:前期末比、111百万円増加

■ 損益の概況 (連結)



■ 事業部別売上高の状況

平成30年3月期第1四半期 セグメント別売上高

機械部品事業

1,410
53%

超硬合金
製品



電機部品事業

1,194
46%

金属材料
製品



907
35%

セラミック
製品



平成30年
3月期
第1四半期
売上高
2,609
(内部取引含む)

725
28%

電気・電子
材料製品



503
19%

単位：百万円

■ 事業部別主要製品の状況

機械部品事業



情報機器関連のハードディスク(HDD)用磁気ヘッド基板

- HDDの需要回復により増収 ▲



装置関連

- 電子部品や半導体などの製造装置が国内向けで増収 ▲



衛生用品関連のNTダイカッター

- 一時的な需要の減少により減収 ▼

	平成28年度第1四半期	平成29年度第1四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	1,349	1,410	61 (4.5%)
営業利益 (百万円)	160	170	9 (5.8%)

■ 事業部別主要製品の状況

電機部品事業



電子部品関連の電極製品

- 国内、海外ともに好調で増収 ▲



自動車関連の接点製品

- EV用接点が在庫調整により海外向けが減収 ▼

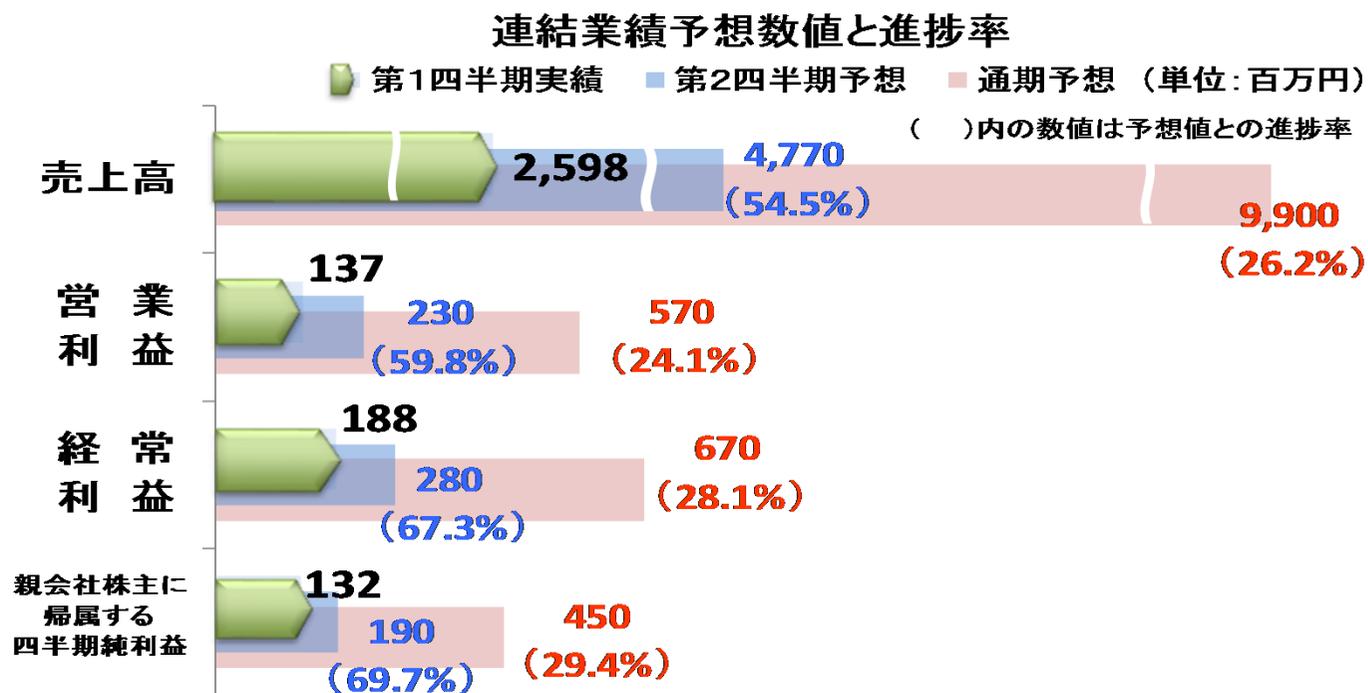
	平成28年度第1四半期	平成29年度第1四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	1,181	1,194	13 (1.1%)
営業利益 (百万円)	77	81	3 (5.0%)

●第2四半期以降の取組み

- ・自動車産業、医療・衛生分野、エネルギー・環境分野でのシェアアップ
- ・原価低減活動を推進、収益の向上を図る

●業績の見通し

現時点では想定どおりに進捗しており、平成29年5月11日公表の第2四半期累計期間及び通期の連結・個別業績予想は据え置くこととした



■ご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。